

【概要】

2015 年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第1回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについて、インターネットによるアンケート調査を 2015 年6月に実施し、その結果を取りまとめたものです。
(回答数:1,146 件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「全期間固定型」及び「固定期間選択型」の希望割合が減少し、「変動型」の希望割合が増加<p. 2>

- ・「全期間固定型」は 35.6% (前回調査:37.9%)、「固定期間選択型」は 37.4% (前回調査:38.9%)と減少
- ・一方、「変動型」は 27.0% (前回調査:23.1%)と増加

2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、「現状よりも上昇する」が増加<p. 3>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は、「現状よりも上昇する」が 38.0% (前回調査:33.7%)と増加し、「ほとんど変わらない」は 36.3% (前回調査:38.7%)と減少
- ・「見当がつかない」の割合は、19.4% (前回調査:20.5%)と減少

3 住宅の買い時意識が低下<p. 6>

- ・今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、39.2%と前回調査(50.2%)より減少
- ・住宅取得のチャンス(買い時)だと思う理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が 78.4% (前回調査:81.4%)に減少した一方、「消費税率引上げ前だから」は 35.4% (前回調査:33.6%)と増加

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ(<http://www.jhf.go.jp/files/300262621.pdf>)に掲載